

平成29年12月

平成29年 平成30年	10月 ~ 1月 ~	12月期 3月期	実 績 見通し
----------------	---------------	-------------	------------

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・I とは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

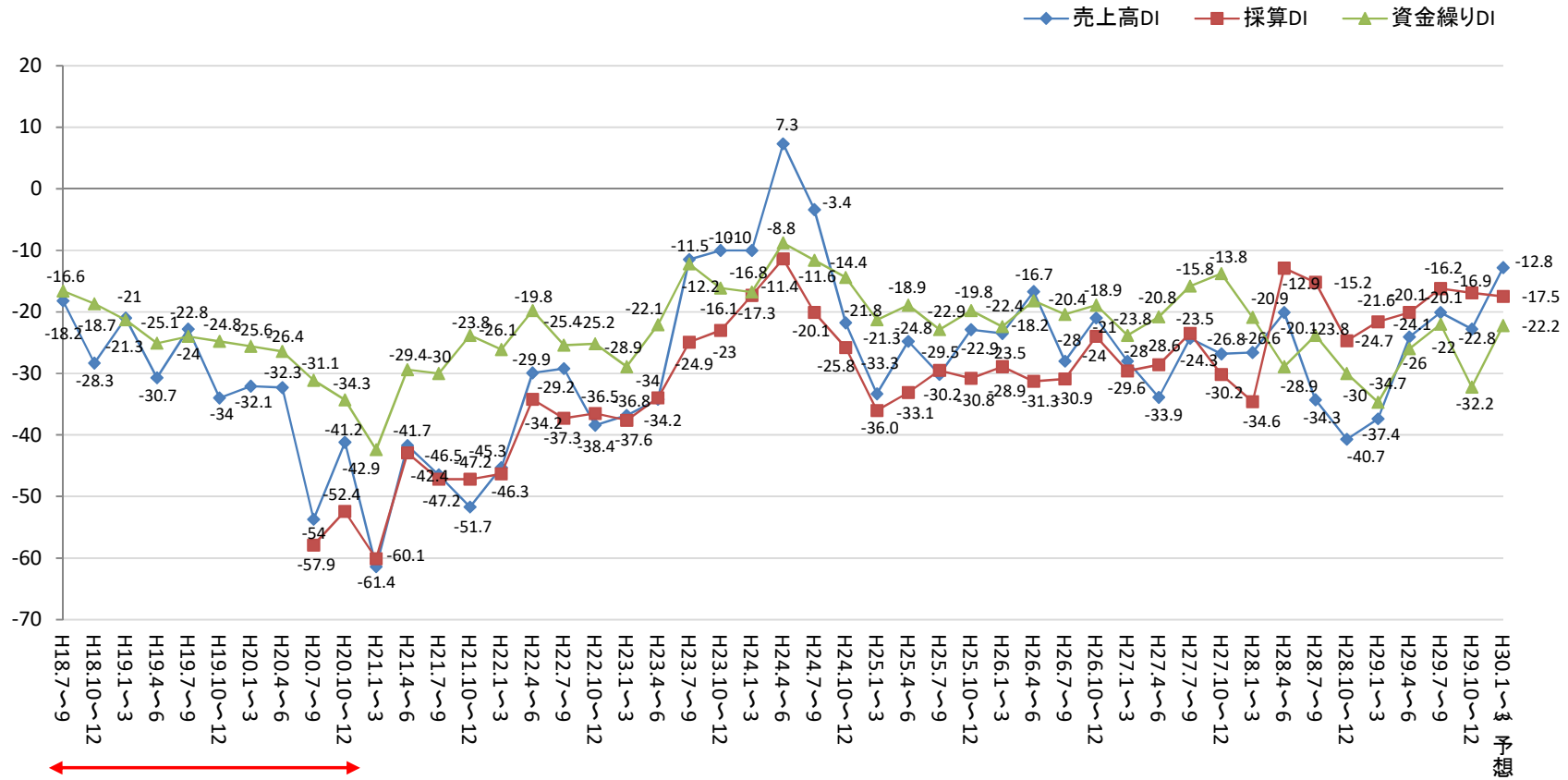
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、 $D・I = 50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き 一前年同期比一



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

期 間 業 種	平成28年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成29年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	(見通し) 平成30年 1～3月
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄 曇	 曇
建 設 業	 曇	 曇	 晴	 雨	 晴	 曇	 薄 曇	 曇	 曇
小 売 業	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 薄 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

売 上 高

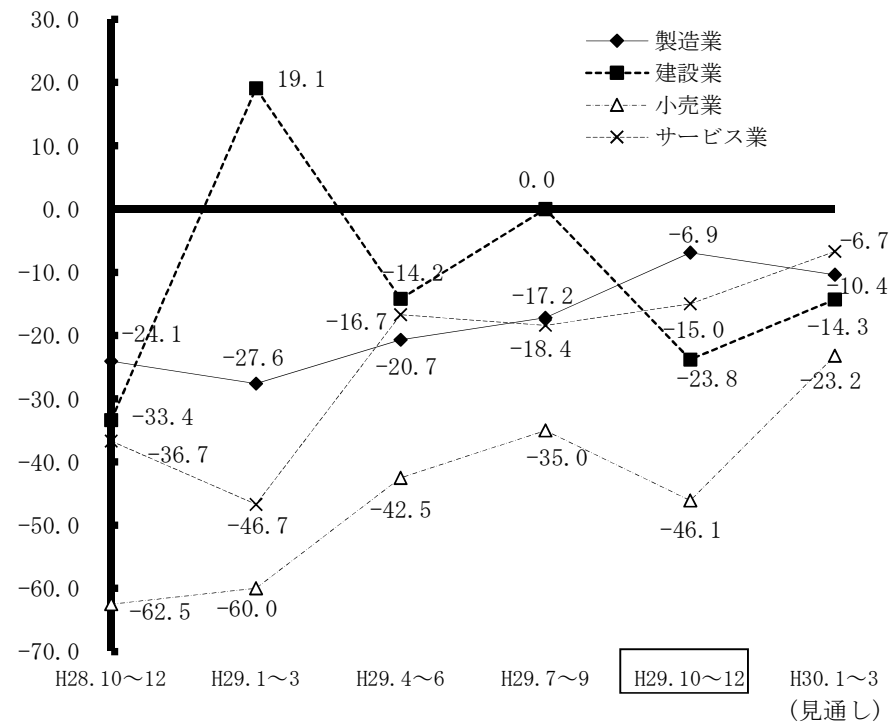
建設業、小売業が低下

製造業、サービス業が小幅に上昇

今期は、製造業が10.3ポイント増加して3期連続の上昇となり、△6.9まで回復しました。また、サービス業も小幅ながら3.4ポイント増加しています。

建設業は、前期0.0まで回復していましたが、今期は減少に転じてマイナス域となり、△23.8まで低下しています。また、小売業は11.1ポイント減少して△46.1まで低下しています。

来期は、製造業は低下が予想されるものの、建設業、小売業、サービス業においては上昇が見込まれています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

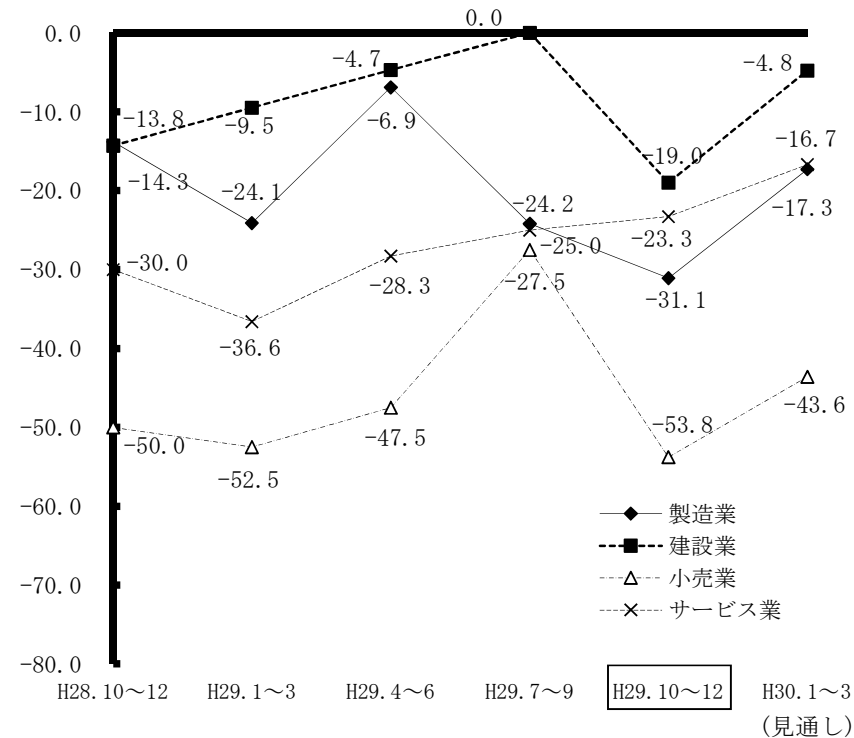
採 算

**サービス業が小幅に好転
製造業、建設業、小売業が悪化**

今期は、サービス業が1.7ポイント増加したものの、建設業が19.0ポイント減少の△19.0、製造業が6.9ポイント減少の△31.1、小売業は26.3ポイント減少して△53.8となり、大幅に悪化しました。

来期は、全業種において好転することが予想されており、サービス業においては4期連続の増加が見込まれます。

※採算は各業種とも経常利益



全産業の推移

資金繰り

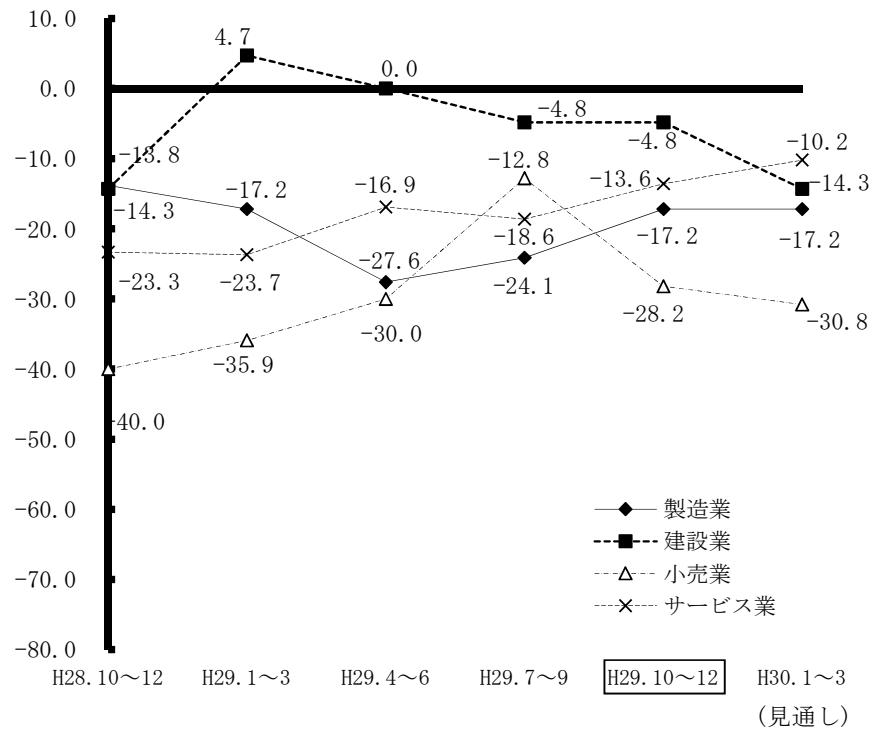
**サービス業、製造業が改善
建設業は横ばい、小売業が悪化**

今期は、サービス業が5.0ポイント増加して△13.6、製造業が6.9ポイント増加して△17.2となり、この2業種において資金繰りが好転しています。

小売業においては、15.4ポイントの大幅な減少となり△28.2まで悪化しています。

また、建設業は横ばいの△4.8となっています。

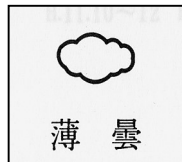
来期は、サービス業において改善が見込まれるものの、製造業は横ばい、建設業、小売業においては悪化する見通しとなっています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

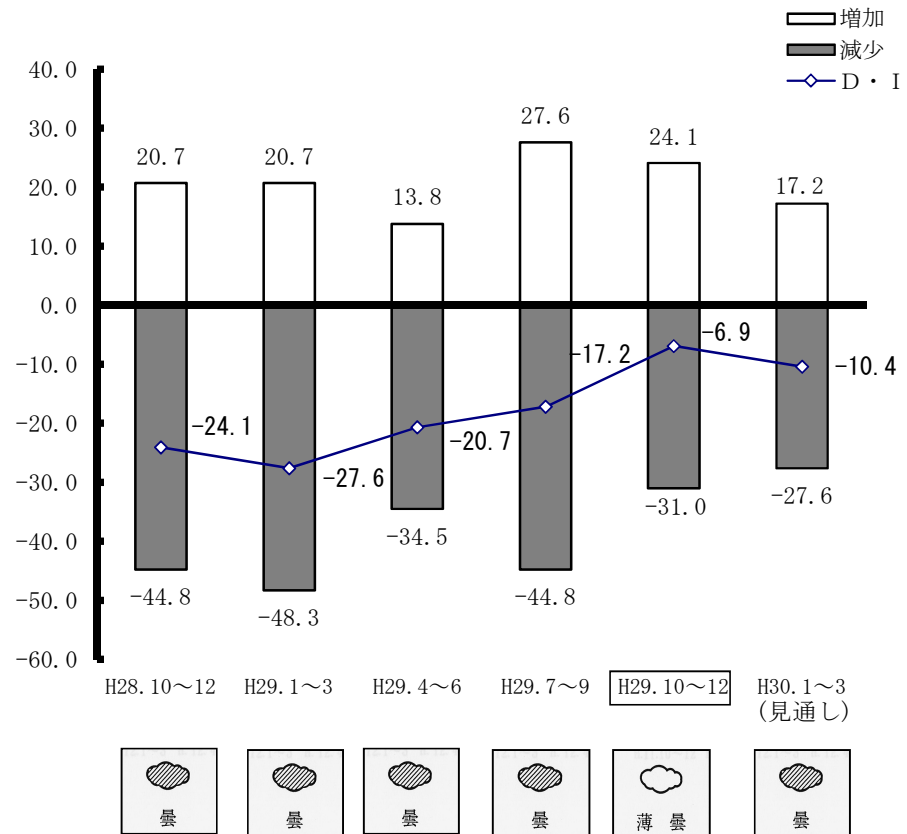


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業が減少したものの、売上高減少企業が13.8ポイント減少したため、売上高D・Iは10.3ポイント増加して△6.9となり、3期連続の上昇となりました。業況天気図も曇から薄曇へと変化しています。

来期は、売上高の減少を予想する企業割合が減少するものの、売上高の増加を予想する企業割合も減少が見込まれ、売上高D・Iは悪化に転じる見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>



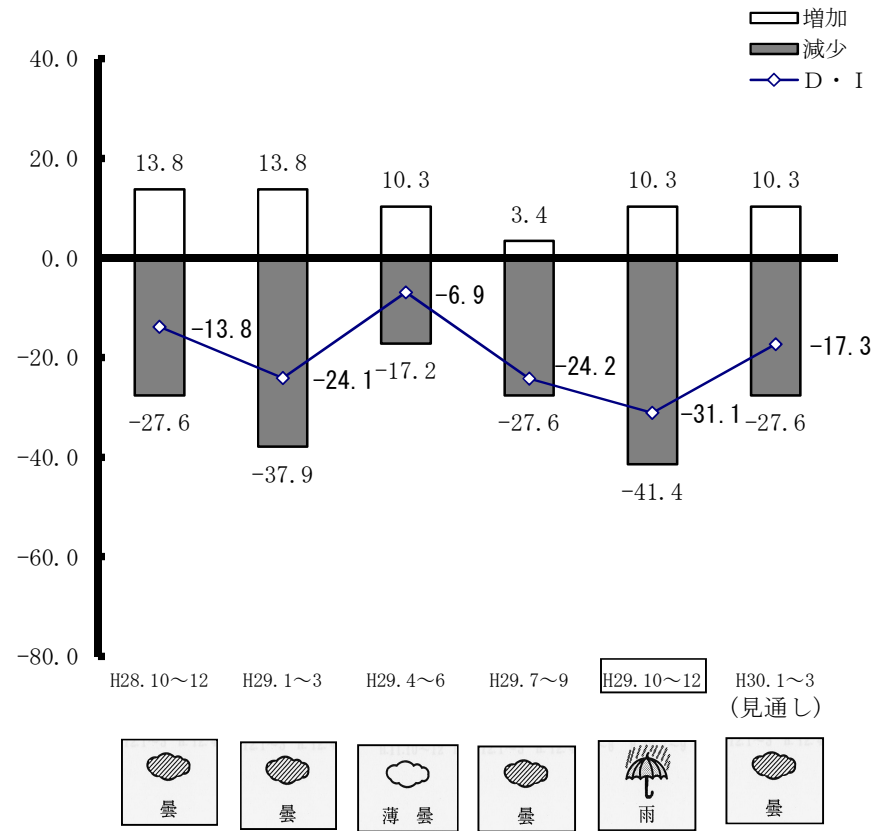
<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が増加したものの、採算が悪化した企業の割合が13.8ポイント増加したことから、採算D・Iは6.9ポイント低下して△31.1まで悪化しました。

業況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業は横ばいにとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が大幅に減少することが見込まれることから、採算D・Iは好転す

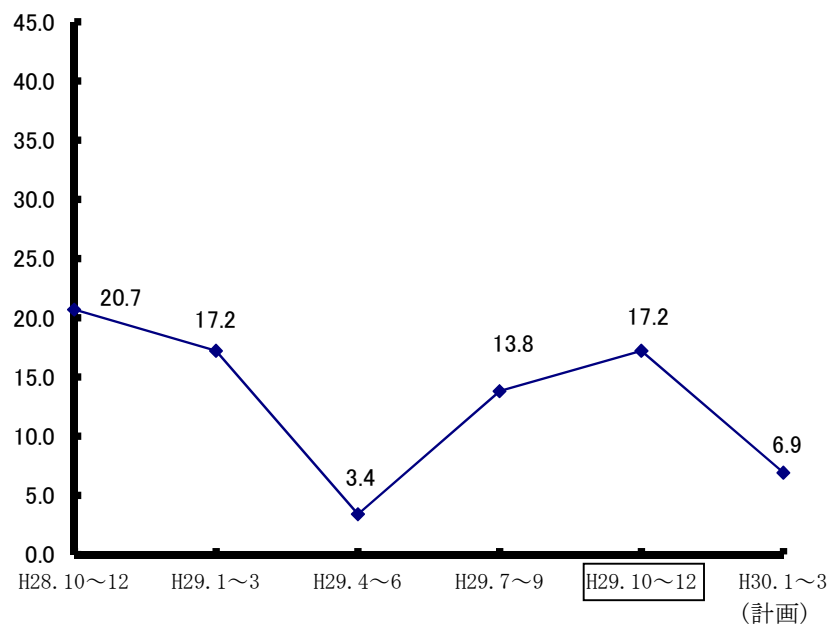


製造業の推移

設備投資

設備投資を実施した企業数の割合は、2期連続して増加となり、17.2まで上昇しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は減少に転じ、6.9まで低下する見通しです。



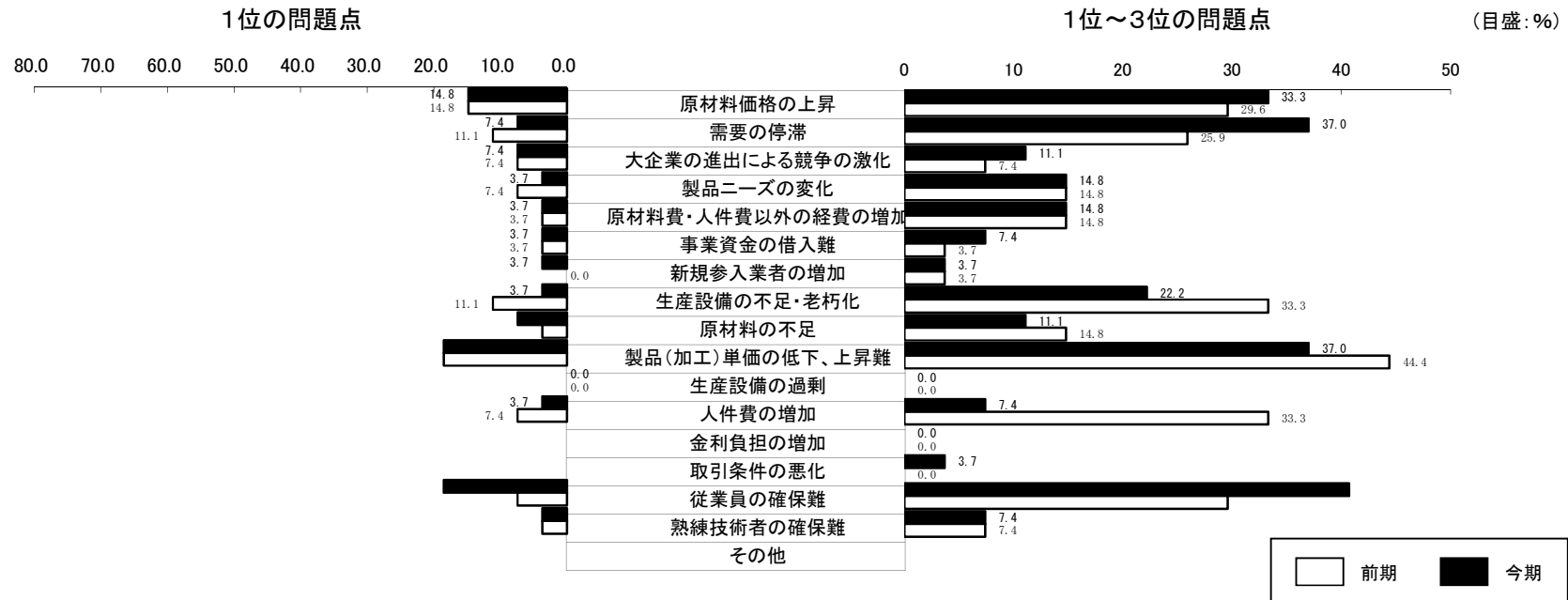
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>

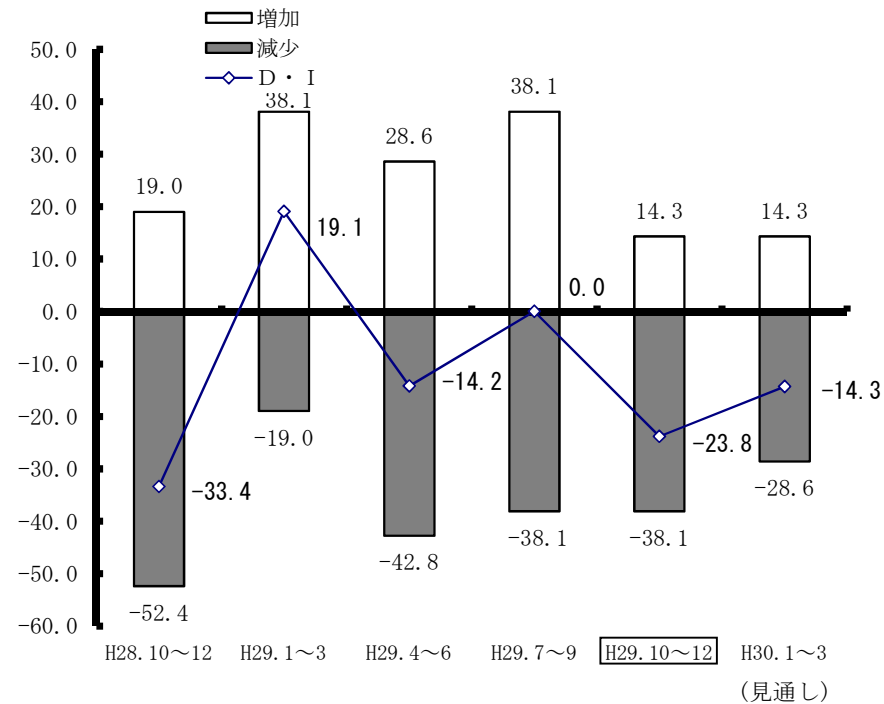


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合が大幅に減少したことから、売上高 D・I はマイナスに転じ、△23.8 まで低下しました。業況天気図も薄曇から曇へと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合は横ばいにとどまるものの、売上高の減少を予想する企業の割合が減少すると見込まれることから、売上高 D・I は上昇に転じ、マイナス幅が縮小する見通しです。

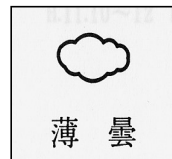


※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

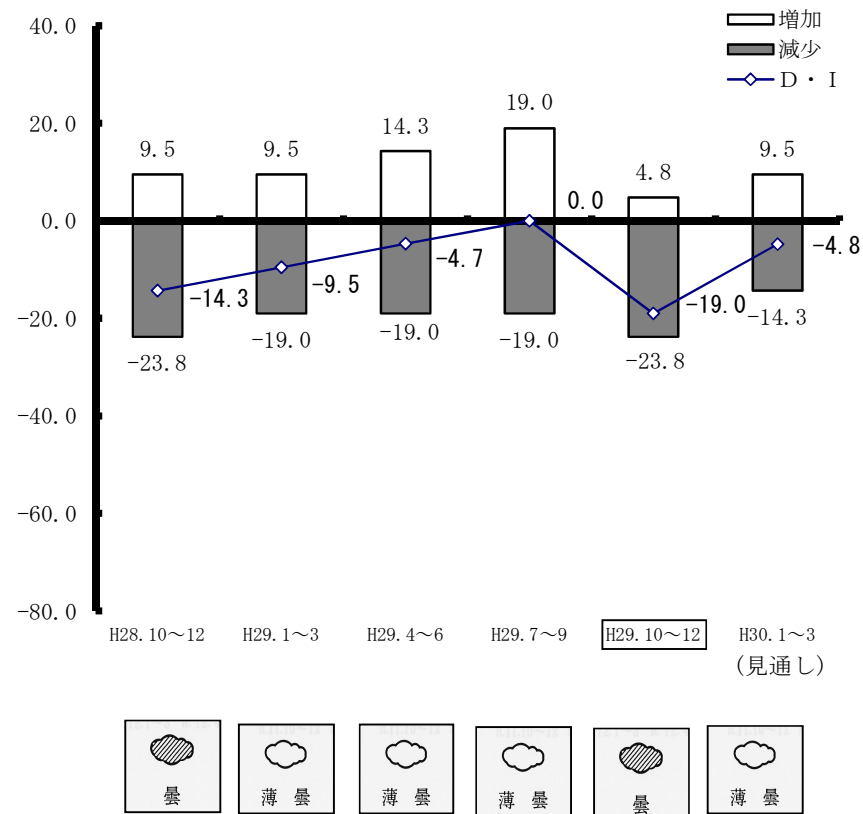
採算

<今 期> <来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業の割合が14.2ポイント減少し、採算が悪化した企業の割合が4.8ポイント増加したため、採算D・Iは19.0ポイント低下し、△19.0まで悪化しました。業況天気図も薄曇から曇へと変化しています。

来期は、採算悪化を予想する企業が減少し、採算の改善を予想する企業が増加することから、採算D・Iは上昇する見通しです。



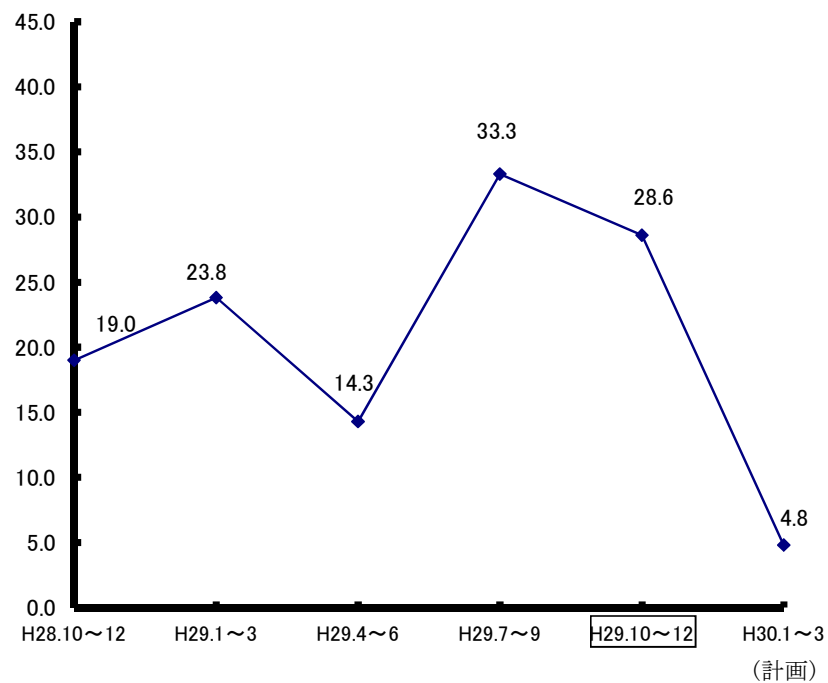
建設業の推移

設備投資

今期、建設業において設備投資を実施した企業数の割合は減少したものの、依然として3割近い水準を維持しています。

来期は、設備投資を予定する企業数の割合が大幅に減少し、4.8まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

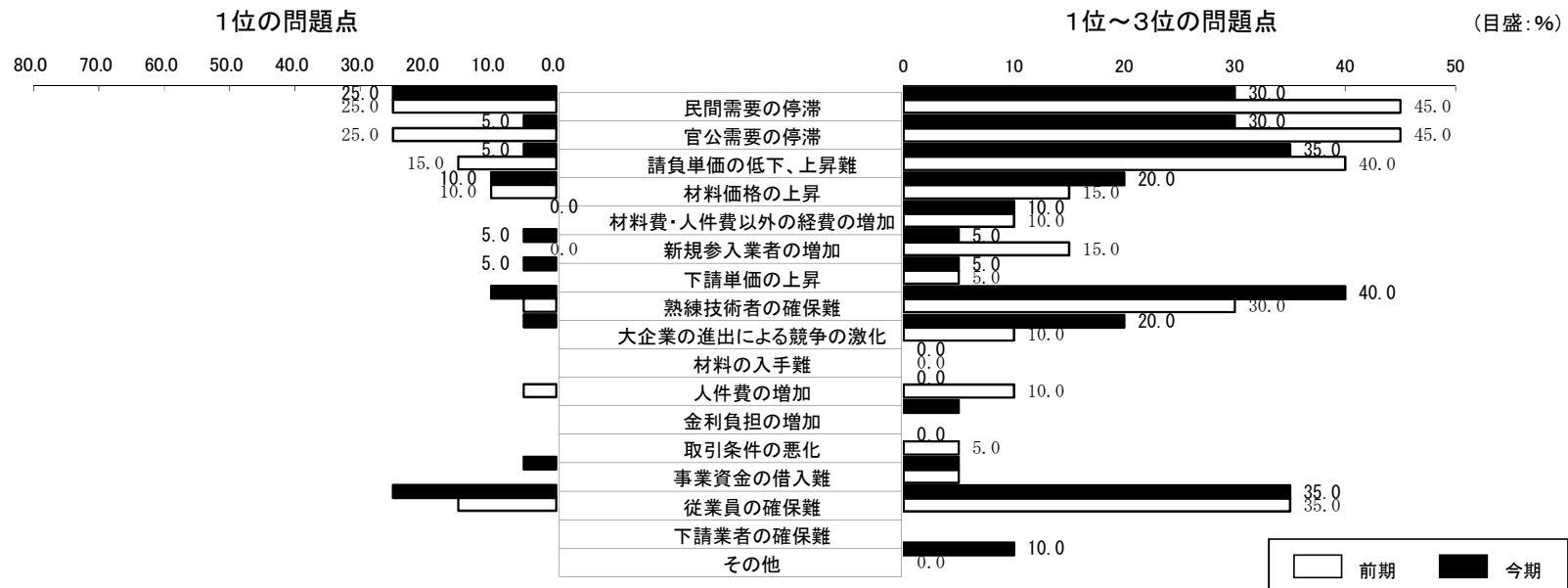


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

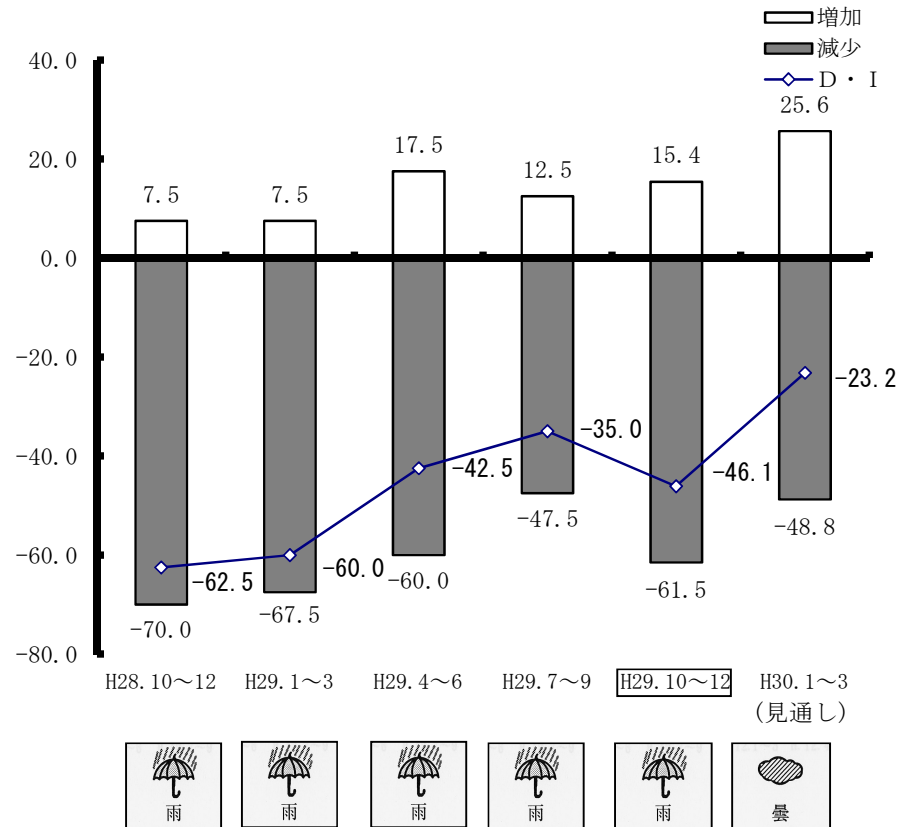


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が増加したものの、売上高減少企業の割合が増加したことにより、売上高D・Iはマイナス幅が拡大し、△46.1まで低下しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合の増加と売上高減少を予想する企業割合の減少により、売上高D・Iは、再び上昇に転じる見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

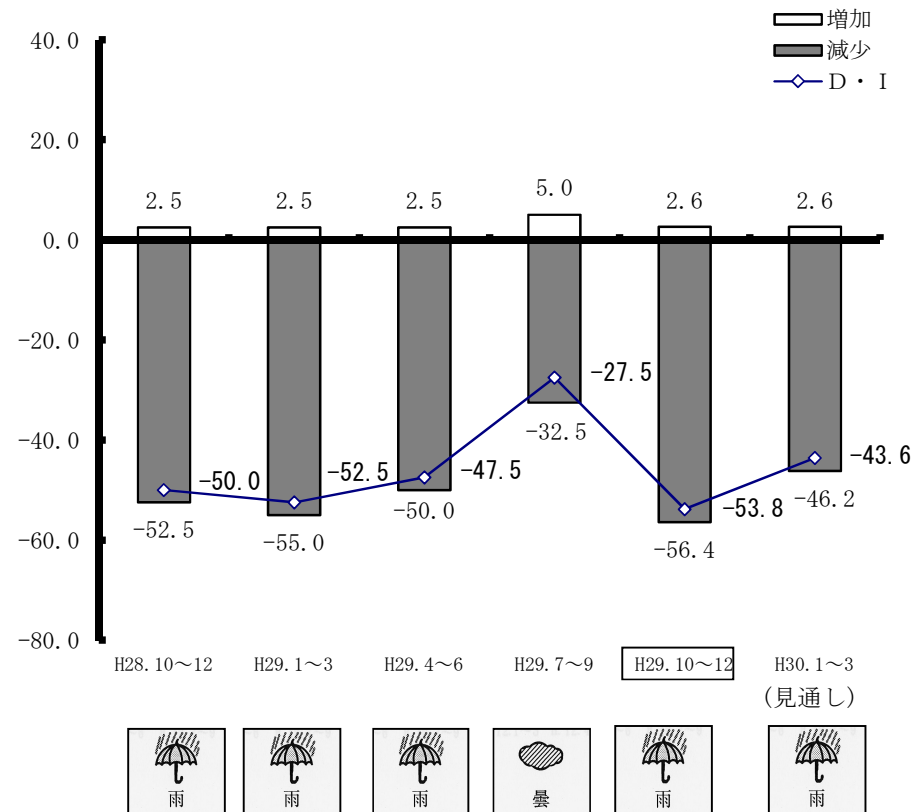


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が小幅に減少し、採算が悪化した企業の割合が大幅に増加したため、採算D・Iは26.3ポイント減少してマイナス幅が拡大し、△53.6まで悪化しました。業況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合は横ばいとなるものの、採算の悪化を予想する企業割合の減少により、採算D・Iのマイナス幅は縮小し、△43.6まで改善する見通



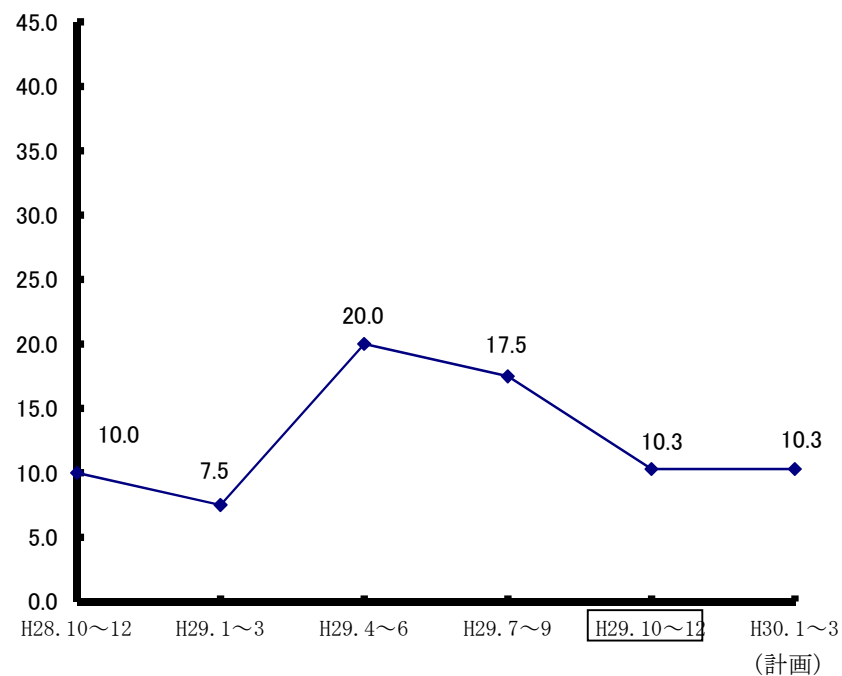
小 売 業 の 推 移

設 備 投 資

今期設備投資を実施した企業数の割合は、7.2ポイント減少して10.3まで低下しています。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は今期と同じ水準にとどまるものと見込まれています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

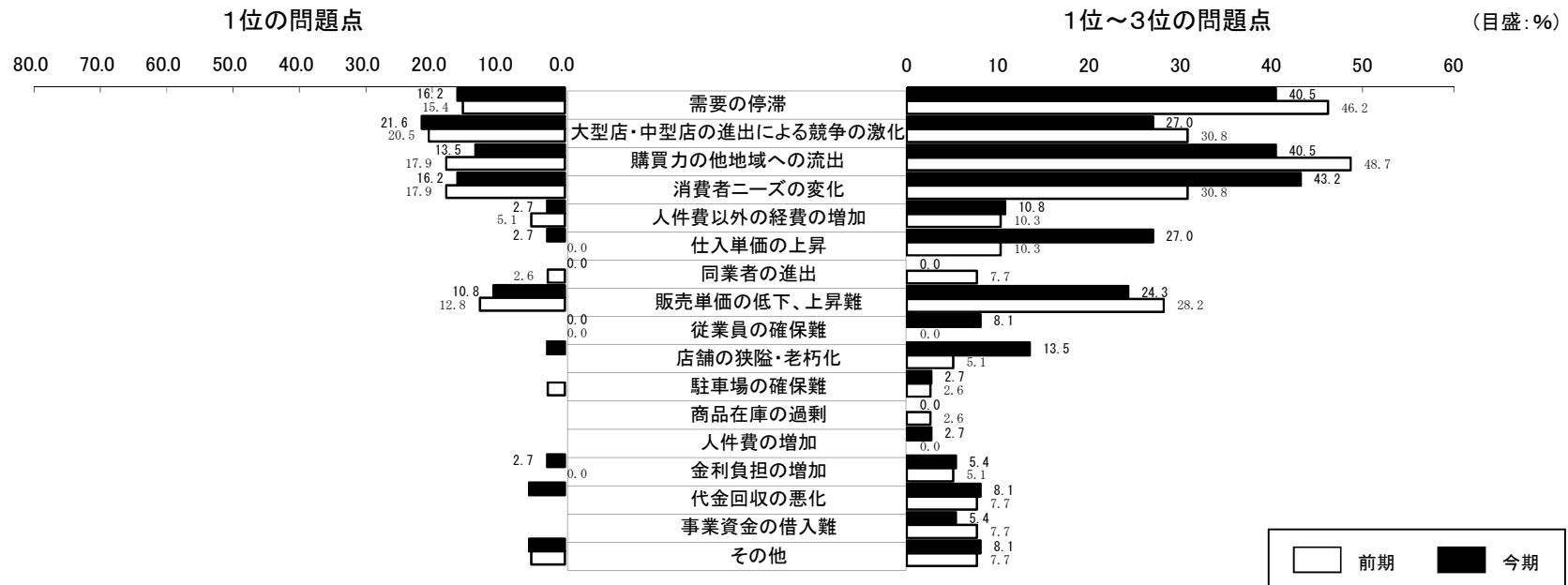


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



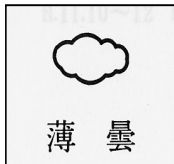
サービス業の推移

売上高

<今 期>

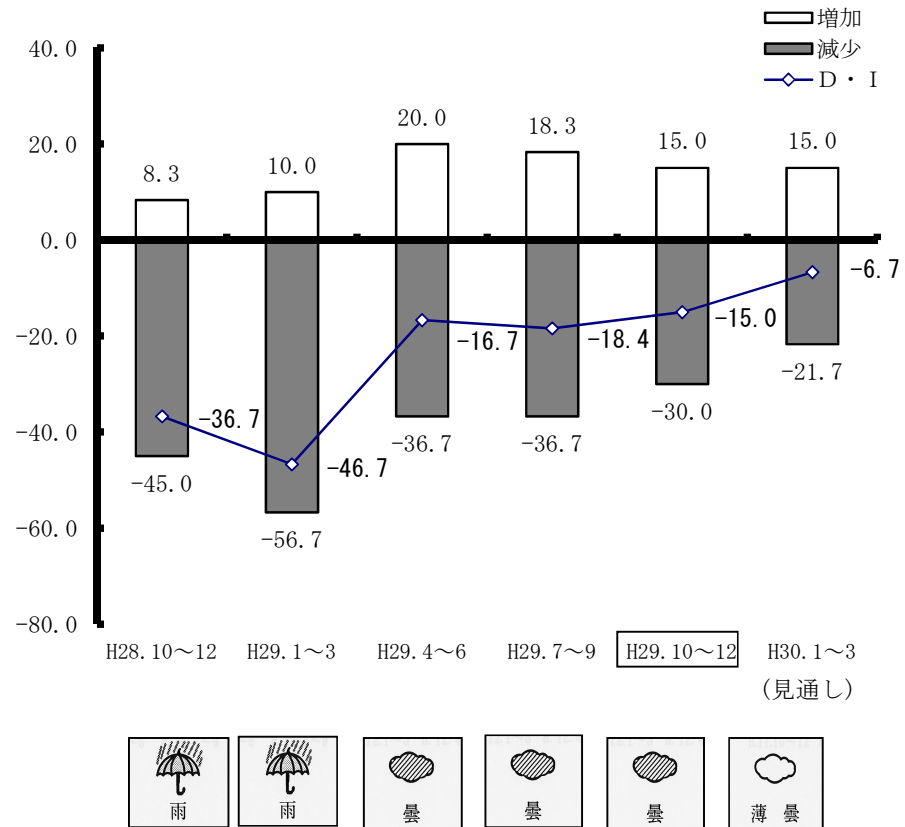


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が3.3ポイント減少したものの、売上高減少企業の割合も6.7ポイント減少したため、売上高D・Iは3.4ポイント上昇し、△15.0となりました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合は横ばいにとどまるものの、売上高減少を予想する企業の割合の減少が見込まれるため、売上高D・Iは上昇し、△6.7となる見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

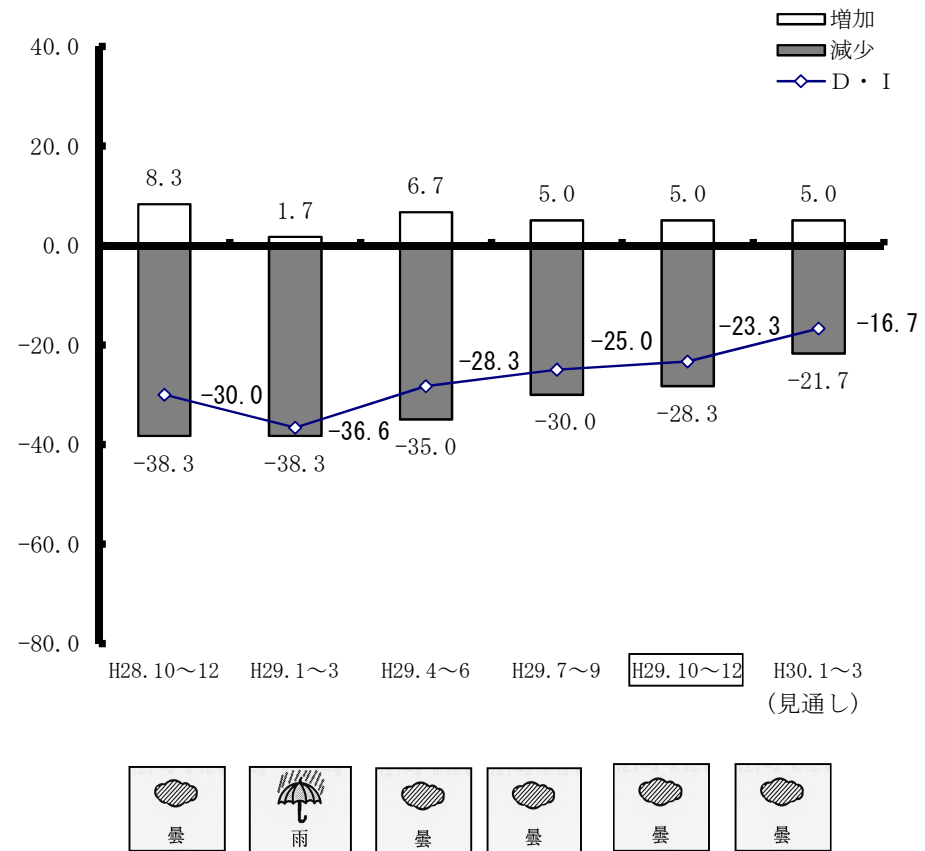


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合は横ばいにとどまったものの、採算が悪化した企業割合が1.7ポイント減少したことから、採算D・Iは1.7ポイント上昇して△23.3となり、小幅な改善となりました。

来期は、採算の改善を予想する企業割合が横ばい、採算の悪化を予想する企業割合が減少する見込みで、採算D・Iは△16.7まで上昇し、引き続きマイナス幅を縮小する見通しです。



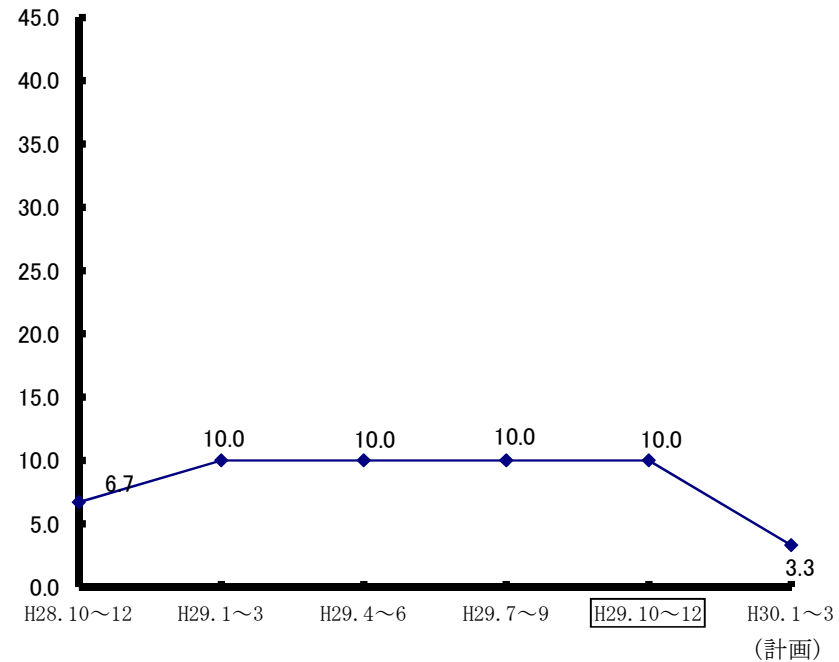
サービス業の推移

設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は前期と変わらず、4期連続して10.0の水準にとどまっております。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は減少が予想され、3.3まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

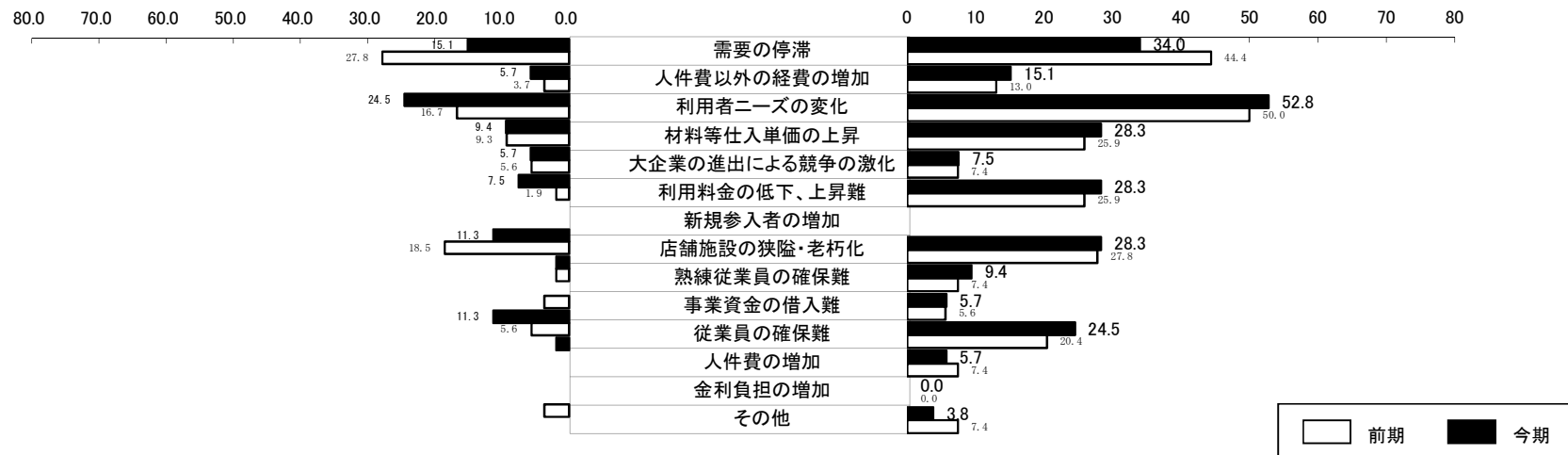
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

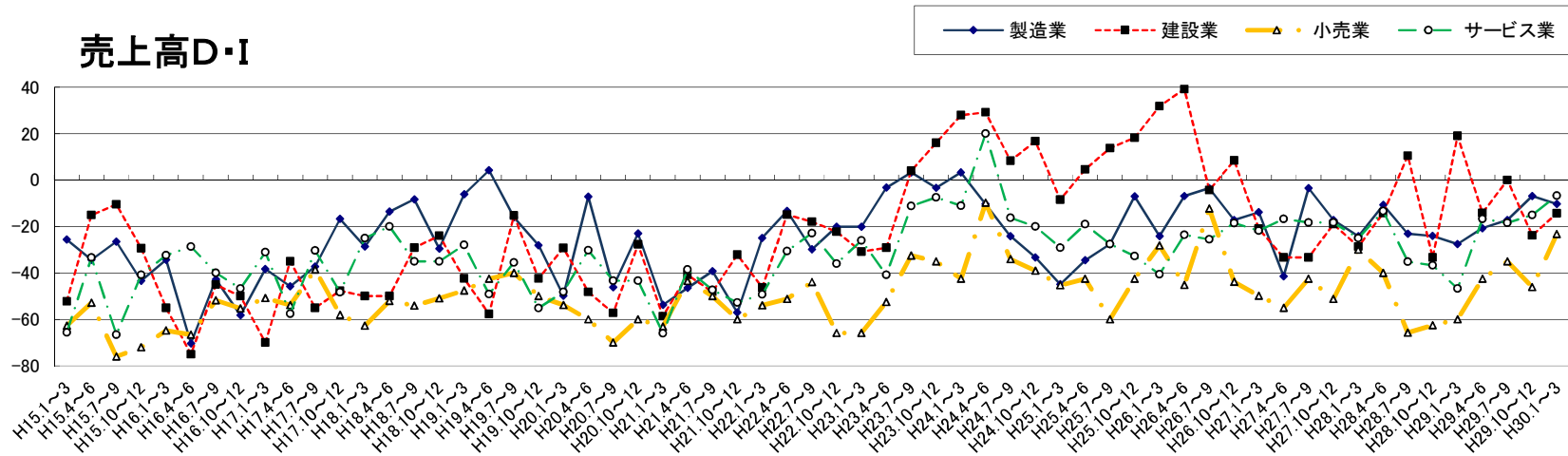
1位～3位の問題点

(目盛: %)

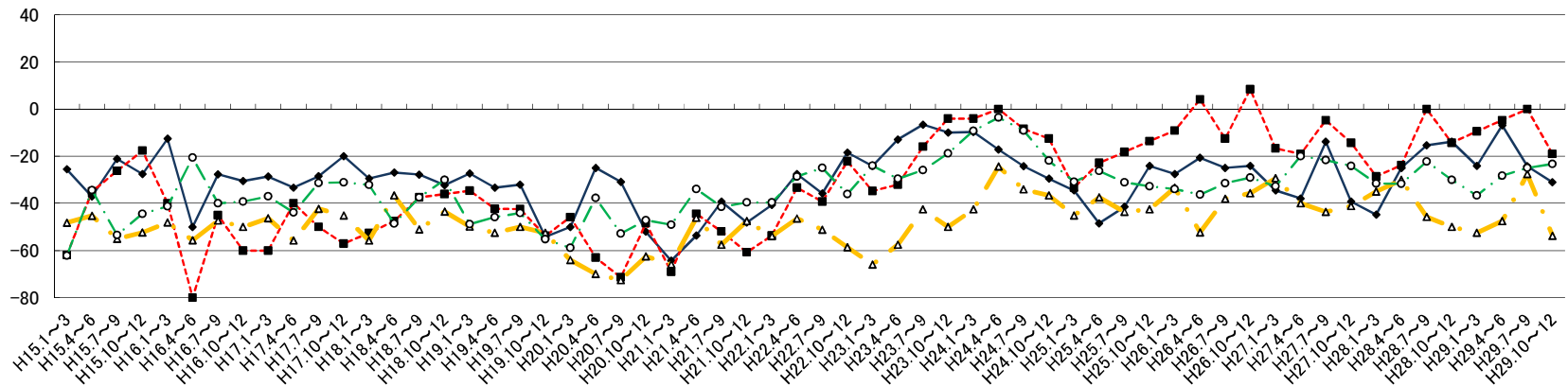


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調査対象

(1) 対象地区	県内10商工会地区	遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
	(商工会名)	紫波町、金ヶ崎町、田野畑村、普代、軽米町

(2) 対象企業数 150 企業

(3) 回答企業数 149 企業

2. 調査対象期間

平成29年10月～12月を対象とし、調査時点は平成29年11月15日としました。

3. 調 査 方 法

- (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
- (2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

項目 業種	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業（地域産業）	29 （ 19.3 ）	29 （ 19.5 ）	100.0
建設業	21 （ 14.0 ）	21 （ 14.1 ）	100.0
小売業	40 （ 26.7 ）	39 （ 26.2 ）	97.5
サービス業	60 （ 40.0 ）	60 （ 40.3 ）	100.0
	150 （ 100.0 ）	149 （ 100.0 ）	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. その他

本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。